

1 静岡県評の取り組みについて、2点報告します。

2

3 ひとつ目は、リニア中央新幹線に対する取り組みです。

4 JR 東海が 2027 年に東京・名古屋間の開業をめざすリニア新幹線の静岡県内建設工事は、静岡県知事の許可が出ず、工事着工ができていません。SNS のコメントには、静岡県が駄々をこねているとの書き込みがあふれ、計画どおり開業できないのは静岡県のせいだとばかりに悪者扱いとなっています。

8 静岡県が頑なになっているのには、もちろん理由があります。静岡県内のルートは、県の最北端、3000m 級の山々が連なる南アルプスの下をトンネルでぶち抜くという難工事
10 で、そこは豊かな自然を有し生物多様性保全の観点からも重要な地域です。そして、南アルプスを源とする大井川は、トンネル工事によって大幅に水量が減る可能性がある
12 と専門家指摘しています。大井川の水は、静岡県中西部地域の生活用水、お茶の生産が盛んな牧ノ原台地に供給する農業用水、そして地域の工業用水を賄っています。JR 東海はトンネルから流れ出た全量を大井川に戻すと約束をしましたが、具体的な根拠は示さず、その後、
14 工事期間中は戻せないに言うことが変わりました。工事の数期間は川の水が涸れてしまう
16 可能性があり、工事後も本当に水が戻るのかは疑問が残る、それは地域にとって死活問題
17 ともいえることです。大井川流域で生み出される総生産額は年 3.7 兆円にも及び、お金で
18 補償されたとしても壊れた自然は二度と元には戻りません。

19 業を煮やした国土交通省が仲介役を買って出て、大井川の水量減少対策と中下流域への影響を議論する有識者会議を設置しましたが、静岡県が推薦する委員の任命や会議の全面公開など、静岡県側の要求はことごとく退けられてしまいました。しかし、流域自治体と静岡県は、大井川の水問題が解決しなければ工事は認めないとの意見で一致しています。

23 この間静岡県評は、流域 62 万人の命の水と南アルプスの自然は守らなければならない、これ以上の地方切り捨ては許さないと、思いを同じくする地域のみなさんと「リニア新幹線を考える静岡県民ネットワーク」をつくり、現地調査や問題点の県民への周知、関係自治体との懇談、JR 東海への要請など運動を展開しています。

27 新型コロナウイルスの感染拡大で東海道新幹線の利用者は、いっとき前年比 9 割減にまでなりました。JR 東海は東海道新幹線の収益をリニア建設費に充てる計画を立てていますが、リモート会議や在宅勤務の普及により、新幹線利用者の減少は確実で、需要予測の見直しの必要性が指摘されています。コロナ禍によって、全国知事会も「東京一極集中ではなく分散型国土を」との議論へと進んでいます。リモートワークが進みつつある中で、リニア新幹線の必要性に疑問の声もでてきており、経済活動の起爆剤ともいわれたリニア新幹線が、時代遅れのお荷物となる可能性も指摘されています。

34 こうした視点から、静岡県評は今後も取り組みを継続していきます。

35

36 続いて、静岡県議会への請願に対する改悪提案についての取り組みです。

37 私たちが議会へ請願を提出する場合には、議会議員の紹介が必要となっています。議会請願は、私たちの要求実現のためには欠かせない運動ですが、要求を理解し紹介議員にな

39 ってもらえる人は、今現在は残念ながら限られた政党・議員だけで、日頃協力関係にある
40 政党の議員は、静岡県議会には1人しかいません。会派回りをして協力をお願いする努力
41 はしていますが、なかなか難しく紹介議員は1人だけという場合も少なくありません。

42 ところが、今年の2月議会の議会運営改善検討委員会で、「請願の紹介議員をこれまで
43 の1人以上から、複数人を必要とする」という案が議論されるという情報が入ったため、
44 阻止しなければとなりました。緊急の呼びかけにもかかわらず、静岡県評傘下の単産・地
45 域を始め、共闘する市民団体を含め91団体から要請署名が集まり、委員会と議会への要
46 請行動を行いました。その後、委員会では自民会派のある議員が、「請願はギリギリの生活
47 者の意見として出すべきであり、その重みを認識すべきだ。少数者の意見まで取り上げる
48 のはいかななものか」と発言するなど、緊迫した状況もありましたが、多くの署名の重み
49 から見送られることになりました。

50 多様な人が共生する社会において、多様な意見を取り入れるのは当たり前のことで、た
51 とえ1人の意見であっても、重要なこと、必要なことであれば取り上げるのが民主主義の
52 考えだと思います。多数決の結果が絶対だという弱肉強食の考えが幅を利かせるのは、新
53 自由主義社会の弊害でもあります。さまざまな場面でこうした考えに私たち自身も飲み込
54 まれてしまうことがあります。民主主義とは何か、少数意見を聞くことがなぜ大切なのか、
55 学習や討議を深めながら運動に取り組んでいかなければなりません。今回のことから静岡
56 県評は、たとえ小さなことであっても学習を重視と話し合っているところです。

57 以上、決意を申し上げて、静岡からの発言とします。

58